



marantz®

7 Ch Power Amplifier

MM8077

取扱説明書

目次

付属品	3
特長	4
高音質	4
多彩な機能	5
各部の名前	6
フロントパネル	6
リアパネル	7

接続のしかた

接続する前に	9
スピーカー	9
AV機器	10
接続のバリエーション例	11
AV機器を接続する	12
Marantz製AV8805との接続例	12
外部のコントロール機器を接続する	14
リモートコントロール端子	14
DCコントロール端子	15
電源コードを接続する	17

操作のしかた

電源をオン/スタンバイにする	18
電源を入れる	18
電源をスタンバイにする	18
イルミネーションライトの点灯/消灯を切り替える	19
自動的に電源をスタンバイにする （オートスタンバイ機能）	20

困ったときは

故障かな？と思ったら	21
電源が入らない / 電源が切れる	22
音が出ない	23
保証と修理について	24

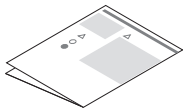
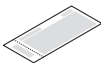
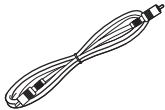
付録

用語の解説	26
主な仕様	27
使用上のご注意	29
索引	30

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

				
取扱説明書	安全にお使い いただくために	保証書	電源コード 【本機専用】	リモートコントロール 接続ケーブル

特長

高音質

・電流帰還型ディスクリートパワーアンプ

Marantz の Hi-Fi パワーアンプに搭載されているコンプリメンタリー・プッシュプル回路を使った電流帰還型パワーアンプを搭載しています。このため、動作の安定度が向上し、ハイスピード・ワイドレンジな高密度の再生を実現しています。

・瞬時電流供給能力の向上

パワーアンプの最終段は、Marantz の Hi-Fi パワーアンプに搭載されている LAPT（高性能のパワートランジスタ）を搭載し、瞬時電流供給能力の向上を実現しています。電源部は大型トランスを搭載しています。電源部の主要部品の一つである、ブロックコンデンサーには音質検討を重ねたマランツオリジナル部品 50,000 μ F/71V $\times$ 2 を搭載しています。これらの電流供給能力の向上により、臨場感あふれるパワフルなサウンドをお楽しみ頂けます。

・ピュアサラウンド思想に基づく高音質設計

各チャンネルアンプから排出される熱を効率良く処理するためにチムニー（煙突）型のヒートシンクと静音性に優れたクーリングファンを搭載しています。クーリングファンのコントロールは、高精度な温度センサー IC を使用して、アンプの発熱量の変化に応じて回転数を可変します。これらにより、静音性に配慮したハイエンドシアターを想定した贅沢な仕様となっています。その他に、高級オーディオコンデンサー、フィルムコンデンサーなどの高品位パーツを随所に採用した高音質設計がされています。

多彩な機能

• BALANCED/UNBALANCED 切り替え機能

用途に応じて、BALANCED 入力と UNBALANCED 入力を各チャンネル毎に選択することができます。

• リモートパワーコントロール機能

Marantz の AV プリアンプ AV8805 と接続し、AV8805 の電源オン/オフに連動して、本機の電源がオン/オフするリモートパワーコントロール機能を搭載しています。AV8805 との接続はアースループを作らないグランド・フローティング接続とし、音質への悪影響を極力抑えました。

• その他の機能

カスタムインストールに対応する IR フラッシャー入力や DC トリガー入出力端子を装備しています。

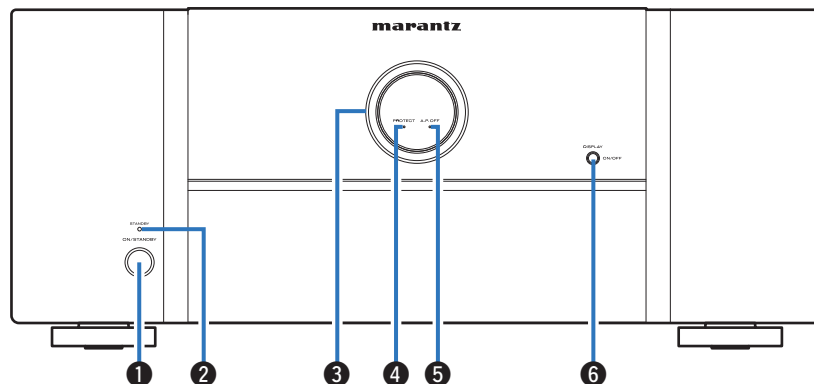
ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名前

フロントパネル



① 電源ボタン (ON/STANDBY)

電源をオン/スタンバイします。(☞ 18ページ)

② スタンバイ表示 (STANDBY)

スタンバイ時に点灯します。

③ イルミネーションライト

本機の電源が入っているときに点灯します。消灯させることもできます。(☞ 19ページ)

④ プロテクション表示 (PROTECT)

保護回路動作時に点滅します。(☞ 26ページ)

⑤ オートパワーオフ表示 (A.P.OFF)

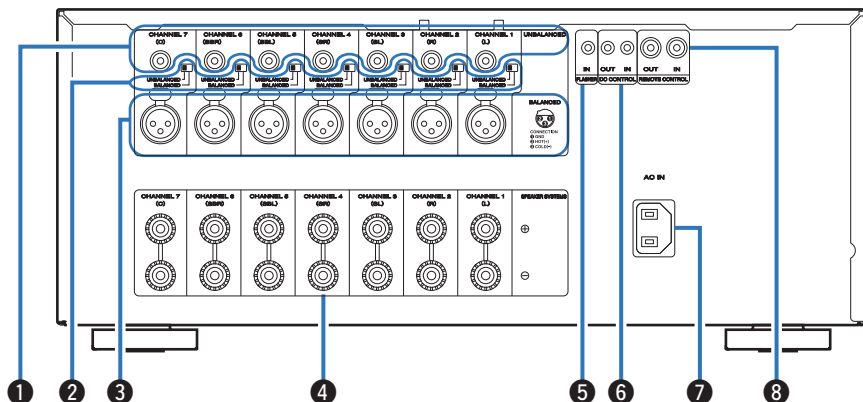
オートスタンバイ機能の設定に応じて次のように点灯します。(☞ 20ページ)

- ・オートスタンバイ機能の設定がオンのとき：点灯
- ・オートスタンバイ機能の設定がオフのとき：消灯

⑥ ディスプレイボタン (DISPLAY)

- ・ボタンを押すと、イルミネーションライトの点灯/消灯が切り替わります。(☞ 19ページ)
- ・ボタンを5秒以上押し続けると、オートスタンバイ機能の設定ができます。(☞ 20ページ)

リアパネル



① アンバランスRCA入力端子 (UNBALANCED)

アンバランスRCA出力端子付きの機器を接続します。
([12ページ](#))

② 入力切り替えスイッチ

機器を接続した端子 (UNBALANCEDまたはBALANCED) に合わせて切り替えます。
([12ページ](#))

③ バランスXLR入力端子 (BALANCED)

バランスXLR出力端子付きの機器を接続します。
([13ページ](#))

④ スピーカー端子 (SPEAKER SYSTEMS)

スピーカーを接続します。
([9ページ](#))

⑤ FLASHER IN端子

コントロールBOXやその他のコントロール機器を接続して、本機をコントロールするときに使用します。

⑥ DCコントロール端子 (DC CONTROL)

トリガー機能対応の機器を接続します。
([15ページ](#))

⑦ ACインレット (AC IN)

付属の電源コードを接続します。
([17ページ](#))

⑧ リモートコントロール端子 (REMOTE CONTROL)

本機に外部のコントロール機器を接続して、外部機器から本機をコントロールするときに使用します。
([14ページ](#))

接続のしかた

■ 目次

接続する前に.....	9
接続のバリエーション例.....	11
AV機器を接続する.....	12
外部のコントロール機器を接続する.....	14
電源コードを接続する.....	17

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

バランスXLRケーブル	
オーディオケーブル	
スピーカーケーブル	

接続する前に

スピーカー

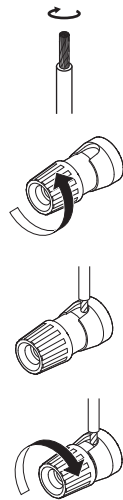
ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。
（「保護回路」(P.26ページ)）
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- インピーダンスが6～8Ωのスピーカーを使用してください。

■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、+（赤）、-（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

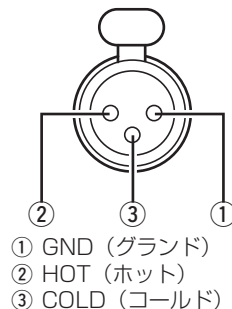
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるか端末処理をおこなう。
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。
- 4 スピーカー端子を右に回して締める。



AV機器

- 本機に市販のAV機器を接続してください。
- 本機にはアンバランスRCA端子とバランスXLR端子があります。ご使用になるAV機器に合わせて接続してください。AV機器に両方の端子がある場合は、どちらか一方の端子に接続してください。
- 本機にスピーカーを接続してください。
- ここでは、13.1チャンネルのスピーカーの接続方法を説明しています。

【本機のバランスXLR端子のPIN配置について】



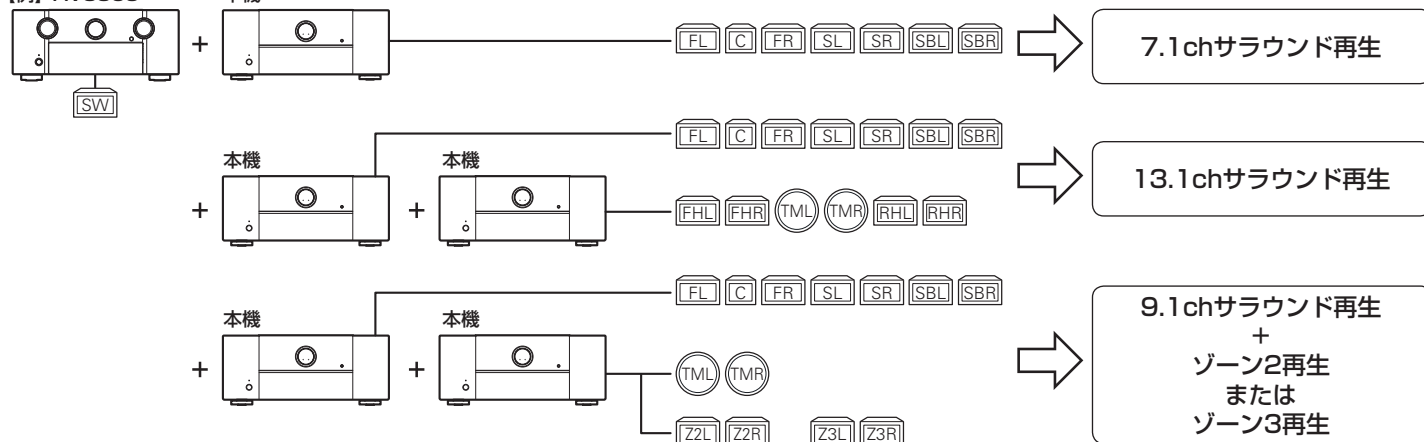
本機のPIN配置は、ヨーロッパ方式を採用しています。
USA方式では②がCOLD (コールド)、③がHOT (ホット) です。
本機にUSA方式のPIN配置の機器を接続するときは、バランスケーブルの片方のプラグの②と③の配線を入れ替えてください。

ご注意

- HOT (ホット) またはCOLD (コールド) とGND (グラウンド) を短絡させて使用しないでください。
- AV機器を接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続している機器の電源も切ってください。

接続のバリエーション例

【例】 AV8805



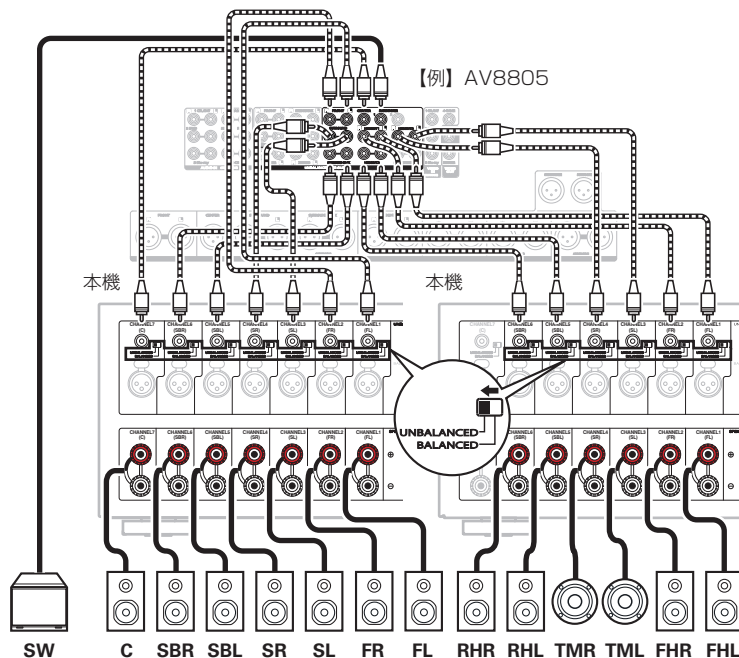
FL : フロントスピーカー (左)	FR : フロントスピーカー (右)	C : センタースピーカー	SL : サラウンドスピーカー (左)	SR : サラウンドスピーカー (右)
SW : サブウーハー	SBL : サラウンドバックスピーカー (左)	SBR : サラウンドバックスピーカー (右)	FHL : フロントハイトスピーカー (左)	FHR : フロントハイトスピーカー (右)
TML : トップミドルスピーカー (左)	TMR : トップミドルスピーカー (右)	RHL : リアハイトスピーカー (左)	RHR : リアハイトスピーカー (右)	
Z2L : ゾーン2スピーカー (左)	Z2R : ゾーン2スピーカー (右)	Z3L : ゾーン3スピーカー (左)	Z3R : ゾーン3スピーカー (右)	

AV機器を接続する

Marantz製AV8805との接続例

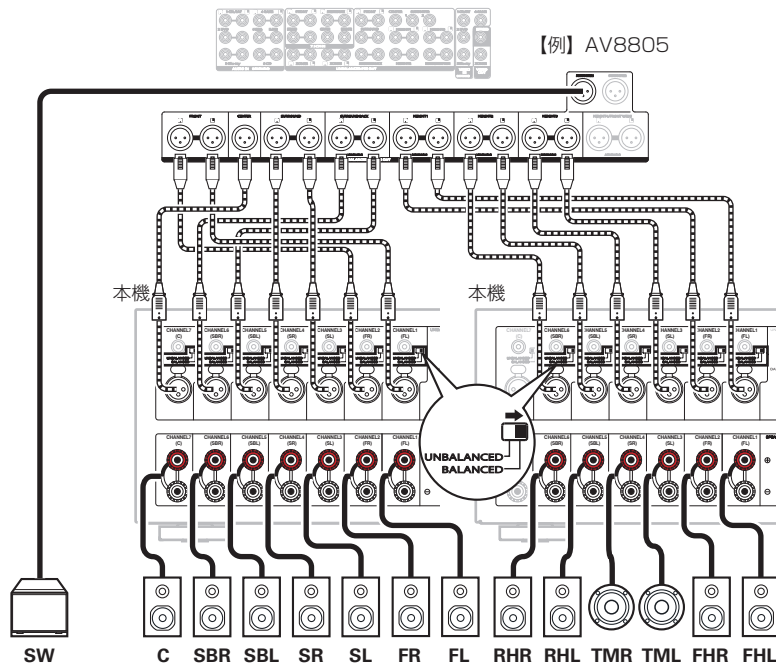
■ アンバランスRCA端子の接続

アンバランスRCA端子を使用して接続する場合は、本機の入力切り替えスイッチを“UNBALANCED”に切り替えてください。



■ バランスXLR端子の接続

バランスXLR端子を使用して接続する場合は、本機の入力切り替えスイッチを“BALANCED”に切り替えてください。

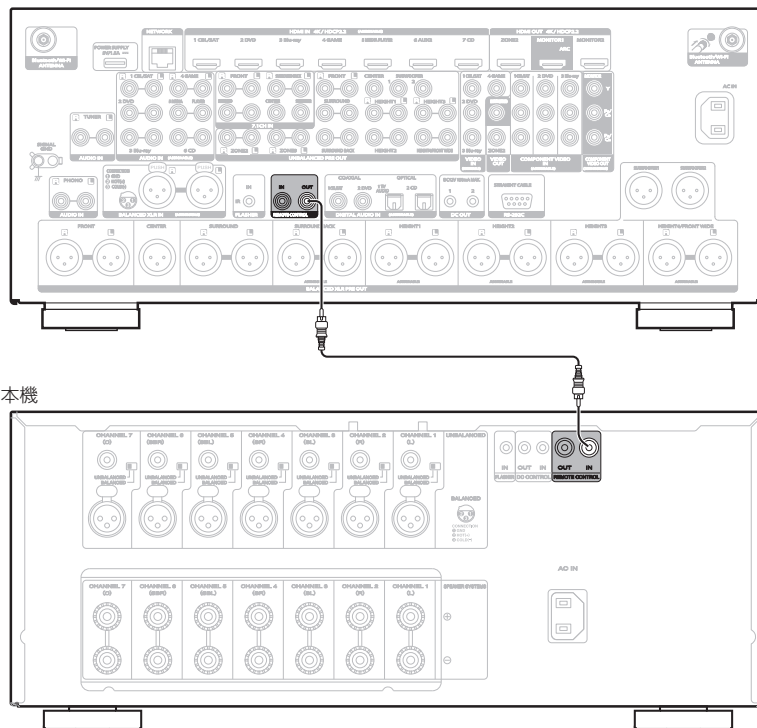


外部のコントロール機器を接続する

リモートコントロール端子

本機に外部のコントロール機器を接続し、外部機器で本機をコントロールすることができます。
例えば、MarantzのAVプリアンプAV8805を接続すると、AV8805の電源オン/スタンバイに連動して、本機の電源もオン/スタンバイさせることができます。詳しくは、AV8805の取扱説明書をご覧ください。

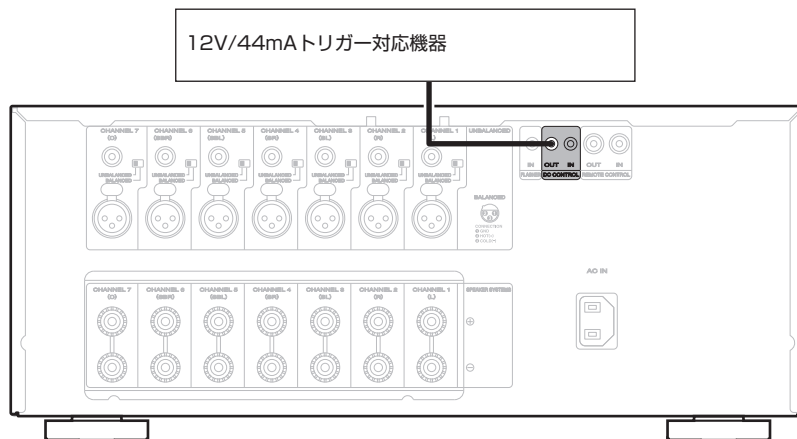
【例】AV8805



DCコントロール端子

■ DCコントロール出力端子

本機にDCコントロール入力端子がある機器を接続し、本機の電源オン/スタンバイに連動させて、接続した機器の電源をオン/スタンバイすることができます。DCコントロール出力端子からは、最大で12V/44mAの電気信号を出力します。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

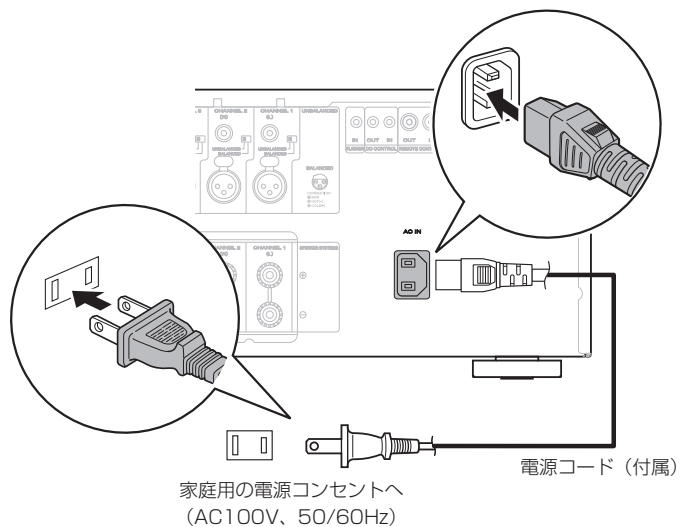


ご注意

- DCコントロール出力端子を外部機器の電源として使用しないでください。

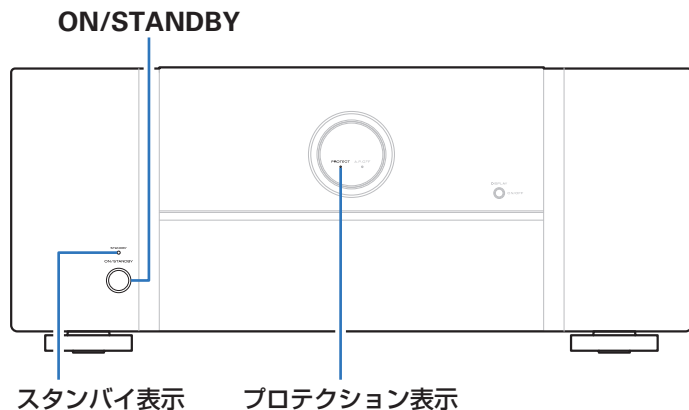
電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



操作のしかた

電源をオン/スタンバイにする



電源を入れる

- 1 電源がスタンバイのときに、ON/STANDBYを押す。
プロテクション表示が約7秒間点滅し、電源が入ります。

ご注意

- 電源を入れるときは、接続している機器の音量を最小にしてください。

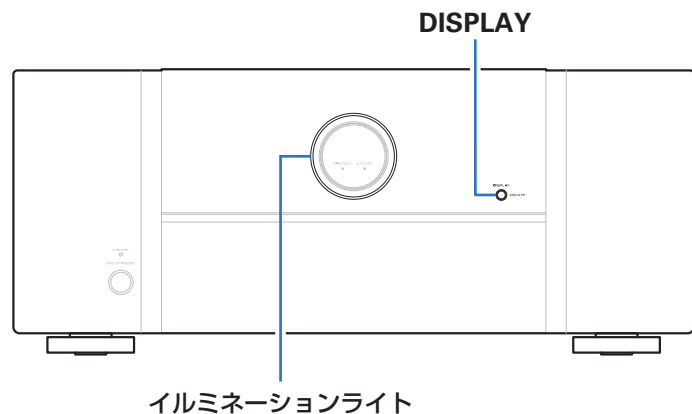
電源をスタンバイにする

- 1 電源が入っているときに、ON/STANDBYを押す。
スタンバイ表示が点灯し、電源がスタンバイになります。

ご注意

- 電源をスタンバイにしても一部の回路は通電しています。長時間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

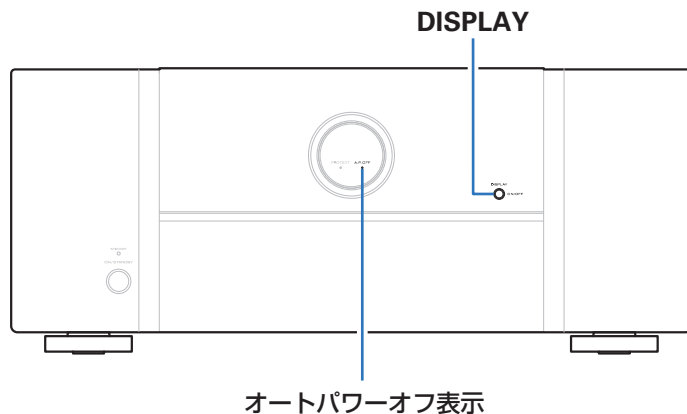
イルミネーションライトの点灯/消灯を切り替える



本機の電源が入っているときに点灯します。おやすみになるときなど部屋を暗くしたい場合などに消灯させることもできます。お買い上げ時の設定は“オン”です。

- 1 DISPLAYを押す。**
ボタンを押すたびに、イルミネーションライトの点灯/消灯が切り替わります。

自動的に電源をスタンバイにする（オートスタンバイ機能）



オートスタンバイ機能を“オン”に設定すると、入力信号が無く無操作の状態が30分以上続いた場合などに本機の電源が自動的にスタンバイになります。

お買い上げ時の設定は“オフ”です。

1 DISPLAYを5秒以上押し続ける。

オートスタンバイ機能の設定により、オートパワーオフ表示が次のように切り替わります。

- オートスタンバイ機能の設定が“オン”のとき：点灯
- オートスタンバイ機能の設定が“オフ”のとき：消灯

困ったときは

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーや接続している機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でわかりにならない場合は、当社のお客さま相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.17ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイ機能が“オン”に設定されています。入力信号が無く、無操作の状態が30分以上続いた場合にオートスタンバイ機能が動作します。オートスタンバイ機能を“オフ”に設定する場合は、DISPLAYボタンを5秒以上押し続けてオートパワーオフ表示を消灯させてください。(P.20ページ)

電源を入れてもすぐに切れる。

- 保護回路が動作しています。一度電源プラグをコンセントから抜き、1分以上経ってから電源プラグを差し込んでください。(P.26ページ)

電源が切れ、スタンバイ表示とプロテクション表示が約0.5秒間隔で点滅している。

- 機器内部の温度上昇により保護回路が動作しています。電源を入れずに1時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから電源を入れ直してください。(P.26ページ)
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- 本機が対応しているインピーダンスのスピーカーを使用してください。(P.9ページ)
- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したために保護回路が動作している可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか端末処理などをしたあとで接続し直してください。(P.9ページ)
- 本機に接続しているアンプの音量を下げてから電源を入れ直してください。

電源が切れ、スタンバイ表示とプロテクション表示が約0.1秒間隔で点滅している。

- 保護回路がはたらいています。一度電源プラグをコンセントから抜き、本機の設置条件を見直し、スピーカーケーブルの接続を確認してください。再度電源を入れても同様の状態になる場合は、当社のお客さま相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

音が出ない

スピーカーから音が出ない。

- スピーカーやすべての機器の接続を確認してください。 (🔧 9ページ)
- 機器を接続した端子 (BALANCEDまたはUNBALANCED) に合わせて入力切り替えスイッチを切り替えてください。
(🔧 12ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触しているか確認してください。 (🔧 9ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけがゆるんでいないか確認してください。
(🔧 9ページ)

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料…… 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代…… 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 技術料…… 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

用語の解説

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω （オーム）という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られますが、アンプにかかる負荷は増えます。本機が対応しているインピーダンスのスピーカーを使用してください。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

主な仕様

定格出力

(20Hz～20kHz T.H.D.=0.08%、2チャンネル駆動) : 150W/ch、負荷8Ω
180W/ch、負荷6Ω

実用最大出力

(1kHz T.H.D. 10% 2チャンネル駆動 JEITA) : 210W/ch、負荷6Ω

出力端子 : 6～8Ω

周波数特性 (1W、8Ω) : 8Hz～100kHz (±3dB)

ダンピングファクター : 100

入力感度/インピーダンス : 1.2V/22kΩ (UNBALANCED)

2.4V/30kΩ (BALANCED)

S/N比 (IHF-A) : 105dB

電圧増幅度 : 29dB

電源 : AC100V、50/60Hz

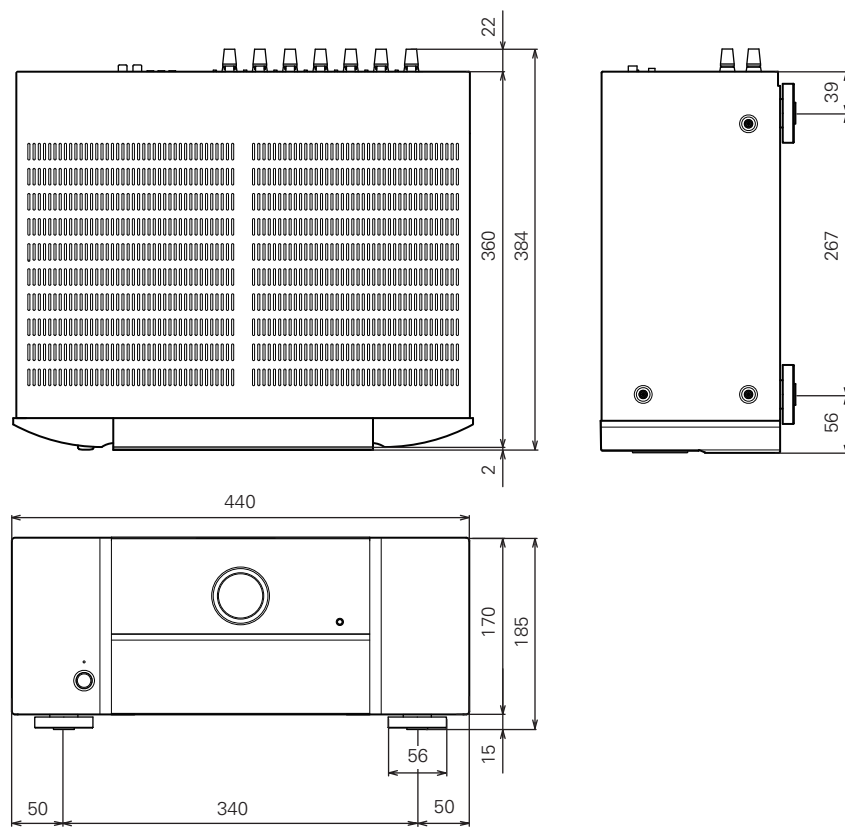
消費電力 : 800W

スタンバイ時の消費電力 : 0.4W

JEITA : (社) 電子情報技術産業協会 (略称 : JEITA) が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法 (単位：mm)



■ 質量：18.0kg

使用上のご注意

■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

■ お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

■ 結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

索引

数字

7.1chサラウンド再生	11
9.1chサラウンド再生	11
11.1chサラウンド再生	11

い

イルミネーションライトの点灯/消灯を切り替える	19
-------------------------	----

お

オーディオケーブル	8
オートスタンバイ機能	20

こ

故障かな？と思ったら	21
------------	----

す

スピーカーインピーダンス	26
スピーカーケーブル	8

せ

接続

アンバランス接続	12
外部コントロール機器	14
電源コード	17
バランス接続	13
リモートコントロール	14
接続のバリエーション例	11

そ

ゾーン2	11
ゾーン3	11

つ

結露（つゆつき）について	29
--------------	----

て

電源を入れる	18
電源をスタンバイにする	18

は

バランスXLR端子のPIN配置について	10
バランスケーブル	8

ふ

付属品	3
フロントパネル	6

ほ

保護回路	26
------	----

り

リアパネル	7
-------	---



当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 **0570 (666) 112**

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9 : 30 ~ 17 : 30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  **050 (3388) 6801**
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://marantz.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://marantz.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 **0570 (666) 811**

- 受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  **0466 (86) 9520**
- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://marantz.jp/jp/html/service.html>
- 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16
FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル